

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中中央小学校	校 長	有崎 美紀	生徒指導主事	由田 紀子
取組事例名	児童会活動『はちの子まつり』				

1 取組 の 設 定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
・よりよい学校生活づくりに参画し、自主的、実践的な態度を育てる。 ・学級や学年の絆を深めたり、思い出を共有したりし、自己存在感を高める。 ・異学年との交流を行い、思いやりや尊敬の気持ちをもって接する態度を育てる。	学級や学年で話し合い、自分たちで合意形成しながら、何をするか、そのために何を準備するか、仕事の分担、当日の係などを決め、自分達で間に合うように声をかけあって準備をし、「はちの子まつり」（自分達の暮らし）を創っていく子供。



2 展 開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
・執行部が「はちの子まつり」の司会・進行を行う。開会式・交代の放送・閉会式 ・各クラスが3つのグループに分かれ、クラスの店番をするグループとお客として回るグループに分かれ、ローテーションする。 ・店番をするときは、受付をしたり、説明をしたりして、お客できた児童が楽しめるようにする。 ※「はちの子まつり」とは、昭和 55 年から続く、府中中央小学校の伝統的な行事であり、子供たちが自主的に計画し、準備、運営を行う祭りである。	児童にめあてをもたせるために ・「何のために」行うのかを考え表現させる。 ・自分のめざす姿はどんな姿なのか、自分の思いや考えをもたせ、問い直す時間をもつ。 児童の意欲を高めるために ・「何をするか」の話し合いから、行事が終了した後の片付けまで、ほぼ全てを児童主体で行う。 児童の頑張りを認め、価値付けるために ・行事終了直後に、学級で振り返りを行い、よかったところや気付きなどを出し合った。 ・執行部が行う、振り返りアンケートも行った。
2 年 手作りおもちゃランド 	4 年 空気鉄砲での当てる 



3 成 果 と 課 題
どの学年、クラスも、自主的に行うことができていた。各学級で話し合い、よりよくするにはどうしたらいいかのアイデアを出し、準備をするときも本番でも声をかけて協力して行い、楽しいまつりをつくっていた。店番をしている児童は、その時の状況に応じて、どうしたらいいかを考えて行動することができていた。異学年と交流し、上学年の工夫されたところを見たり、同じ縦割り班の頑張っているところを見たり声をかけたりしていた。 運営の仕方として、スタンプ方式にする等の工夫をし、回っているところやまだ回っていないところが視覚的に分かるようにし、どの教室も万遍なく回るような配慮ができるとよかった。